

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	5	政策名	きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	3	施策名	活力ある地域づくりの推進	地域政策課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
地域や関係機関と連携し、地域に居住している人たちが、地域そのものに誇りを持つ意識の醸成を図るとともに、関係人口の拡大や移住定住の促進等を通じ、個性豊かで活力のある地域社会の形成を目指します。					企画政策課、観光PR課					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)					後期計画における課題					
<p>■ 溝辺町竹子地区に配置している地域おこし協力隊を中心に、新たな商品開発や地域の情報発信を通じ、地域の活性化に向けた取組が行われた。</p> <p>■ 「マンパワー支援事業」による大学生等の派遣を行い、地域の持続的な活動を支援するとともに、関係人口増加への取組を推進することができた。</p> <p>■ 市職員による地域まちづくり計画へのサポートを行うことで地域と連携しながら課題の整理や解決のための計画策定が進められた。</p> <p>■ 移住・定住の促進については、補助事業やオンライン等の手法を活用した相談体制を充実することで、コロナ禍の中でも一定の成果を上げることができた。また、社会動態において2020年度から転入者が転出者を上回った。(転入超過)</p>					<p>■ 中山間地域の地区自治公民館では、過疎化が進んでおり、市職員による地域まちづくりサポーター制度を活用した支援等を推進することが必要である。</p> <p>■ 移住者や移住希望者の立場に立ったサポート体制の充実や、官民連携による情報発信を行う必要がある。</p>					
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上)    △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	霧島市に住み続けたいと思う人の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	80.0	80.5	81.0	81.5	82.0	100.0%
				実績値	-	-	-	-	82.2	◎
B	相談窓口を経た移住者数	人	更なる増加を目指します	目標値	220	220	220	220	220	106.0%
				実績値	203	314	181	198	233	◎
C	移住プロモーションによる相談件数	人	更なる増加を目指します	目標値	550	550	550	550	550	136.0%
				実績値	719	595	539	743	748	◎
D	転入者数-転出者数	人	減少の抑制を目指します	目標値	-200	-150	-100	-50	0	-
				実績値	-341	-128	398	340	404	◎
E				目標値						
				実績値						
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果			後期計画における課題			
① 中山間地域の活動支援	<p>■ 高齢化率の高い中山間地域の地区自治公民館からの要請により、「マンパワー支援事業」による大学生等を派遣して地域活動の支援を行った。</p> <p>■ 中山間地域住民の主体的な活動を促進するために、2020年8月から地域おこし協力隊制度等の支援措置を活用して、地域の活性化に取り組んだ。</p> <p>■ 市職員による地域まちづくりサポーター制度により、地域のまちづくり計画策定をサポートした。</p>			<p>■ 国分平山地区へ「マンパワー支援事業」による大学生等を派遣し、持続的な地域活動を支援することができた。</p> <p>■ 溝辺町竹子地区に地域おこし協力隊を1人配置し、地域の農産物を活用した特産品の開発やコミュニティ組織の設立に向けた取組等が行われた。</p> <p>■ 市職員による地域まちづくり計画へのサポートを行うことで、地域と連携しながら課題の整理や解決のための計画策定が進められた。</p>			<p>■ 中山間地域の地区自治公民館では過疎化が進んでおり、市職員による地域まちづくりサポーター制度を活用した支援等の推進が必要。</p> <p>■ 地域の活性化に繋がる自主的な活動を支援するため、国の支援制度の活用や産学官が連携した取組などの推進。</p>			
② 移住定住の促進	<p>■ 県内外で行われる移住イベントに参加し、移住に興味がある人々に本市の魅力をPRした。</p> <p>■ コロナ禍の影響により、対面型の移住相談会やイベントが中止される中、オンラインによるイベントや相談会を実施した。</p> <p>■ 移住定住促進事業や各種支援事業、移住者の生活の様子を紹介するガイドブック等を作成した。</p> <p>■ シティセールスミーティングの開催や首都圏等でのシティセールスを実施した。</p> <p>■ 関係各課が連携したシティプロモーション活動を実施した。</p>			<p>■ 2019年度までは県内外で行われる移住イベントへの参加や移住体験メニューの提供が主体であった。2020年度以降はコロナ禍により民間企業等と連携したオンラインイベントを開催し、効果的な事業展開を図ることができた。</p> <p>■ 移住定住関係のガイドブック等を作成し移住先の選択に必要な情報を様々な角度から提供することができた。</p> <p>■ シティセールスミーティングで集約した市PR素材を活用し、メディアセールス活動等を通して本市の魅力を幅広く発信することができた。</p>			<p>■ これまでアプローチできていなかった潜在的な移住希望者に対する効果的なPR。</p> <p>■ 移住者の立場に立ったサポート体制の充実。</p> <p>■ 紙媒体中心のPR素材から動画などへのデジタル化を推進し、最新の情報提供やICTを活用した情報発信。</p> <p>■ 民間企業・移住者と連携したWebでの情報発信や、オンライン・サポーター制度等による移住定住の相談体制の充実。</p>			
③ 出逢いと結婚の支援	<p>■ かごしま出会いサポートセンター出張登録閲覧会を本市で開催し、市民の出会いの機会提供に努めた。(5年間で30回開催)</p> <p>■ 結婚支援の情報収集に努めた。</p>			<p>■ かごしま出会いサポートセンター出張登録閲覧会を本市で開催した結果、5年間で市民のカップル成立数が176組、成婚数が16人となり、市民の出会いの場の確保に繋がった。</p>			<p>■ 本市での出張登録閲覧会を継続的に開催し、出会いの機会提供に努める。</p> <p>■ 包括連携協定を締結している企業等と連携し、婚活イベントの開催を促進する。</p>			